

**\* 耳より情報 \***

**後援会駅頭宣伝**

5月13日(金)北浦和駅東口(7時~8時)  
 5月13日(金)浦和駅西口(17時~18時半)  
 5月18日(水)浦和駅西口(7時~8時)  
 伊藤岳早朝宣伝  
 5月20日(金)北浦和駅東口(7時~8時)  
 5月23日(月)浦和駅東口(7時~8時)  
 5月27日(金)北浦和駅東口(7時~8時)  
**オール浦和区の会(準備会)署名・宣伝活動**  
 5月19日(木)浦和駅東口  
 署名・宣伝(13時~14時)  
 会議(14時半~16時半)

**市民連合@埼玉**

5月13日(金)浦和コミセン/パルコ10階  
 (18時半~)  
 選挙をみんなの手で!埼玉大集会  
 ~「野党共闘」を実現させ、2人当選のために

**5・29オール埼玉総行動**  
 5月29日(日)北浦和公園(10時半~)

**埼玉憲法会議 学習会**

5月19日(木)さいたま市民会館うらわ  
 (18時半~)  
 「失言・暴言から考える憲法と政治」  
 講師:石河裕一郎さん

**浦和北九条の会 春の学習会**

5月21日(土)北浦和・パレット  
 (14時~)  
 「私たちの暮らしと憲法」  
 講師:鈴木幸子弁護士



**うらわ宿文芸**



**俳句**  
 車待つ 園児ら跳びはね 梅花舞う  
 寒暁や 富士芒洋と 山波に  
 火の国や 崩落の音 緑立つ  
 (岸町・佐々木幹広)

**川柳**

甘利さん あまりにひどい 疑惑です  
 物価高 怒りのこぶし 握りしめ  
 ウソのウソ 口先だけの 安倍総理  
 (岸町・だん吉)

**うらわだいい**

政財界戦々恐々パナマ騒  
 審議しろ?見せず語らずPTT  
 囲碁七冠アベノミクスは皆せ口冠  
 (東口・さぶ老)

**《編集後記》**

消費税を10%に値上げすると明言してきた首相はここに来て静かだ。3月にはアメリカの教授に意見を聞いた。消費税アップは延期だとノーベル経済学賞受賞者の先生は言つ。その反対に、消費税は上げるべきと提言するハーバード大の先生。『あー、そうか』と首相は右顧左眄。何でもアメリカの先生に聞くのか。アベノミクスの立役者、浜田宏一博士は延期か増税か。戦争法案のときは、違憲ですと断言されてしまったので、うっかり聞けないということか。『糞に懲りて膾を吹く』の心境だ。間もなく伊勢志摩サミットがあり、それを意識しすぎて日本人学識者には聴けないということか。官製春闘は大企業も息切れで昨年の半分だ。賃上げによる消費の拡大、経済好循環、デフレ克服なんて夢のまた夢。いろいろと財界に気配りをして法人税率を下げてても設備投資は少ない。専ら内部留保が増えていく。トリクルダウンが口癖だった首相は最近とみに沈黙だ。日銀総裁のマイナス金利の導入で景気は上向きどころか、委縮気味だ。まずすべきことは、企業の内部留保残高に2%の課税を、富裕層にはそれ相当のご負担が必要だ。所得資産格差は拡大するばかり、貧困層には厳しい消費税アップは止めるべきだ。(駒場・幹)



日本共産党浦和区後援会ニュース  
 2016年5月号 59  
 浦和区北浦和3-14-16  
 TEL/FAX 048-833-4515  
 \*\*\*\*\* (部内資料) \*\*\*\*\*

参院選まで2か月余り

**比例選挙での躍進と伊藤岳候補を必ず国会へ!**

日本共産党さいたま市議会議員 とりうみ敏行

浦和区後援会の皆さんこんにちは。参議院選挙まであと残すところ2か月余りとなりました。

戦争法の強行採決を機に、「あべ政治を許さない」「野党は共闘」の声が広がる中、日本共産党の提案で、全国32の1人区での野党の選挙協力が合意され、すでに20選挙区で統一候補が確定しました。(4月30日現在)

「安倍政権を何とかしなければ」と野党共闘を願う多くの方々から、日本共産党の選挙対応に、「さすが共産党」、「よく決断してくれた」など、日本共産党への新たな期待の声も寄せられています。

浦和区内でも、伊藤岳候補のポスターや「力合わせて未来開く」のポスターなど、これまで断られていた商店や、他党支持と思われ

ていたお宅で、「共産党頑張っているね。張れるところがあればいいよ。」とどこでも好意的で、これまで張り出した数の半数近くは新しく張らせていただきました。

日本共産党と野党協力が進む中、危機感を強める公明党は、埼玉選挙区でも、安倍晋三首相との連名ポスターを張り出しました。

さらに、衆議院北海道5区の補選では、日本共産党を誹謗中傷する謀略ピラがまかれるなど、熾烈な選挙戦となりました。

私たちの埼玉でも、「共産党の伊藤岳は必ず落とせ!」とばかり、自公の選挙協力が強められています。

後援会の皆さん。今度の参院選は、未来を担う若者たちをはじめ、私たちの子

や孫の将来がかかっています。なんとしても、日本を戦争する国にしないために、「比例は日本共産党。埼玉選挙区は伊藤岳」を合言葉に、全力で戦いましょう。私も先頭に立って全力を出し切ります。ともに頑張りましょう。



とりうみ市議(左)と伊藤岳候補(右)

5月3日、有明防災公園で行われた「5・3憲法集会」は昨年3万7千人を大きく超える5万人の参加者であふれました。



4野党党首のアピールでは志位さんが「市民の運動に背中を

**明日を決めるのは私たち——平和といのちと人権を守る5・3憲法集会**

押されて共闘が実現した」と発言。その後、101歳の現役ジャーナリストむのたけじさんから23歳のシールズ奥田愛基さんまで年齢もフィールドも多様なゲストが登場し、「一人ひとりが

主権者。こんなところで終わるわけにはいかない」と力強いスピーチをしました。

集会最後には「戦争法の廃止を求める20

00万統一署名」が1200万筆まで到達したこと、全国32の改選1人区のうち21選挙区で野党各党の候補者1本化が実現したことが報告されました。

(領家・島)

編集部では5月1日、児童文学作家で浦和区にお住まいの齋藤惇夫さんにインタビューをお願いしました。齋藤さんの書かれた「グリックの冒険」「冒険者たち ガンバと15匹の仲間たち」(アニメ化。また劇団四季により繰り返し上演)、「ガンバとカワウソの冒険」は三部作としてロングセラーとなり多くの読者、教職員、父兄に支持されています。また、齋藤さんはオール浦和区の会(準備会)の呼びかけ人としても活躍されています。



## シリーズ 野党は共闘 野党共闘は是非成功して欲しい!

Q:先生の著書「私はなぜファンタジーに向かうのか」では、大手電機会社を辞めて出版社に入り、その後童話を書き始めたとありますがどういう経過で児童文学作家になったのですか

最初の会社は電機会社で輸出入の仕事をしていましたが、仕事上のミスで取引先の防衛庁から大変怒られまして嫌気がさしていたのです。たまたま銀座をふらふら歩いている時福音館書店を前にして童話を見たのです。「童話がやりたい・・・」と思いました。私も60年安保デモを体験していますが、皆が60年安保を忘れて企業戦士になっていくのを目の当たりにしてそれも嫌だったですね。子どもに何を伝えるかということ真剣に考えました。そのころ浦和にお住まいだった石井桃子さんに会いました。石井さんの紹介で私は福音館に入ったのです。

Q:童話を書く原点は何だったのでしょうか

私は新潟県長岡市で生まれ育ち

ましたが、冬になると昔話をしてくれた祖母やグリム童話を話してくれた母の影響、そして綴り方教室を続けていた小学校の担任の先生の影響がありますね。その先生はアカだと言われ長い間刑務所に拘束され戦後復帰しましたが、小学校2年からずっと宮澤賢治の本を読んでくれました。童話に胸がはりさけそうな感動を受けた記憶が忘れられません。そうした体験が童話に向かわせたと思います。

Q:政治、選挙の話題になりますが、ズバリ政治活動は如何ですか

原発事故以来、金曜日の国会デモに行く位ですが、私と同じ位の年齢の人が多くいて嬉しくなりま



す。やはり60年安保で挫折した人達ではないかと思えますね。聞くと孫の為に安倍政治をやめさせたいという人が多く共感します。シールズの「民主主義ってなんだ」、胸に手をあてて「ここだ」。これは共感しますね。60年安保のときの私も今のシールズに近かったのではないかと思います。

Q:参院選めざし野党共闘の運動が盛り上がっていますがどうお感じですか

共産党の共闘への提案は良かった

たですね。野党共闘は是非とも成功して欲しいと思います。ダメになってもこれから同じことをしていかなければならないことですから案ずることはありません。あと気になるのは、共闘の中から誰かがヒーローやヒロインが出るのを待っています、なんて言う人がいますが、それは嫌ですね。ヒーローやヒロインはいなくていいんです。人任せということになってしまいますから。

Q:共産党への要望やご意見がありましたら

私の家でも共産党のポスターを貼っています。赤旗も日曜版ですが購読しています。妻も熱心に読んでいます。昔、私の書いたものに共産党からやや批判的な書評が出されたことがありましたが私は逆に嬉しかったです。ああ、こういう見方もあるのかと。近年、私が赤旗に書評を書いたこともあるんですよ。

## 児童文学作家 齋藤惇夫さんにインタビュー

Q:今後の抱負をお聞かせ下さい

ヨーロッパでは10才位になるまで読んでもらうことを読書というそうです。子どもは本の世界に入って主人公になってしまいますから、背後に誰か支える人がいないといけないという考え方なのです。フィンランドの子どもは今でも一日15分は父親に本を読んでもらっているそうです。活字離れという前に、日本はこれを見習わないといけないのではないのでしょうか。そういうことを全国を回って伝えていきたいと思っています。

今日はありがとうございます。紙面の都合で割愛させていただきます。インタビューの全容は是非ホームページで掲載させていただきます

野々さんとは「子育て・文化協同」運動の埼玉集会で一緒にしたのが最初で、地域での教育を語る会や学童作り運動、「みんなの地球」の文化活動などで知っているくらいです。

## 野々さん「HIMI」で待っています!

野々さんが身近な存在になったのは、マラソンの友人と大会参加の打ち上げの後、酔いの勢いで真夜中に野々さんの家に寄った時、嫌な顔一つせず二人の酔っ払いを迎え入れ、旬の秋刀魚の塩焼きを振る舞ってくれました。以来、野々さんは私にとって特別の存在になりました。

さらに親密になったのは、後援会ニュース編集部起ち上げに率先して参加してくれ、毎

回の編集会議で、いつも飾らず威張らず自然



本年1月号新春鼎談での野々垣さん

体でいる凄さを知ってからです。もの見方、考え方が複眼的で、現場に行つて考え、地域に根を張り密着して行動する方でした。政治のための政治ではなく、文化や生活を豊穰にするためにこそ政治があると強調していました。そんな野々さんと共に飲み・歌い・語り合うという日々が共有でき

たことは私にとって大変貴重な財産になりました。体調を崩されて4ヶ月間辛い日々だったと思います。「おっぱいが痛い」と言ったのは野々さん流のジョークではなく真面目な訴えだったと理解したのは遅すぎました。まさか肺がんに侵されていたとは。近所の「エミ」という気さくな居酒屋に野々さんはよく通っていました。私も何度となく一緒に、「エミにいます」と野々メールが携帯に入ってきたときは、何時でもいそいそと出かけました。もう一度、もう一度「エミにいます」メールを発信して欲しいです。(石川清隆)

## お花見 おしゃべり ランチタイム

3月31日、木崎後援会(あらぐさ)で19人が参加し、初めての浦和西高の先の正樹院橋にお花見をしました。浦和西高の先の正樹院橋に集まり、陽気も良く桜の花も見頃の用水縁を散策しながら、芝川緑の三崎公園まで歩きました。鳥海市議もお孫さんを連れて参加あいさつ。輪になって

自己紹介。小川志津子元市議の音頭で乾杯。おいしいお酒とお弁当に舌鼓を打ち、いっぱいおしゃべりし、鳥海夫人のリードで思いきり歌もうたって盛りあがり、伊藤岳さんの勝利をめざしてがんばろうと思いを一つにできました。(木崎・Mg・K)



## 地域だより



## なかまの声

### 街の中で・・・

私たちは日頃、街の中で様々な人々と接して、嬉しかったり、時には厳しい言葉に傷ついたりしながら活動をしているわけですが、最近の経験から、応援してくれる人が増えてくるのかな・・・と思う出来事が多くなった気がしています。ポスターを貼らせてくださるお家人が、「こちらの壁の方が良く見えるよ」と協力してくださったりします。参議院選挙のキャン

封筒に下記のような言葉を書いてくださった方がいるので、ご紹介いたします。アベが正気なら私は正気でない・・・私が正気ならアベは正気ではない 眞に天は戴けない(不俱戴天) 応援してくれる人々と共にがんばっていきたく思います。(常盤南・U)

